

2017年8月7日

ネットワークスキャナーが米 **Keypoint Intelligence 社** (旧 **BLI 社**)  
「**BLI Summer 2017 Pick Award**」受賞

キヤノン電子製のネットワークスキャナー “imageFORMULA ScanFront 400” が、米国のリサーチ会社 **Keypoint Intelligence 社** (旧 **BLI 社**(Buyers Laboratory LLC)) の「**BLI Summer 2017 Pick Award**」にて、「**Outstanding Workgroup Scanner**」を受賞し、同社 **Gerry O'Rourke** 氏より記念盾が授与されました。

**Keypoint Intelligence 社**は、1961年創設の **BLI 社**と、1991年創設のマーケットリサーチ会社 **InfoTrends 社**が合併し、2015年に新たに創設された会社です。元々米国に本社を置く **BLI 社**は、50年以上高い信頼を得ているビジネスユーザー向けのオフィス機器に対する独立評価機関です。数ヶ月間にわたる厳格で実践的な試験を独自に実施しており、その結果を基に発行されるレポートは最も包括的で正確と評価されています。

**ScanFront 400** は、10.1インチの大画面タッチパネルを搭載し、高い耐久性、毎分45枚の高速スキャン、そして最大60枚まで積載可能な大容量給紙トレイを兼ね備えた進化したネットワークスキャナーです。今回は前機種に比べて、大きくなって操作しやすくなったタッチパネルスクリーン、高速高耐久になったスキャン機能、そして1ボタンで設定からスキャンまで実行できる機能と **SDK (Software Development Kit)** \*を用いたカスタマイズにより、様々なエンドユーザーのワークフローに対応可能な点が評価されて今回の受賞となりました。

\***SDK(Software Development Kit)** : 特定の **API(Application Program Interface)**やプラットフォーム、プログラムにおけるソフトウェア開発のためのツール集。

< **Keypoint Intelligence 社 Director of Software Analysis Jamie Bsales** 氏のコメント >

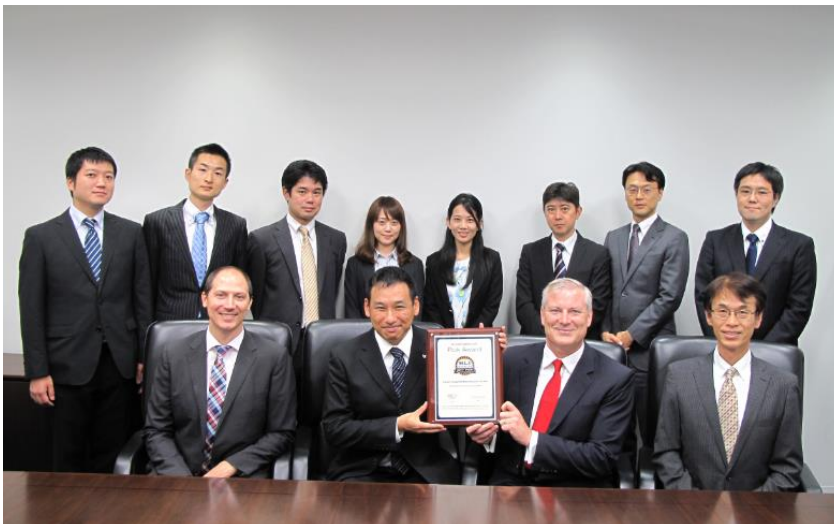
キヤノンの **imageFORMULA ScanFront 400** は、タブレットさながらの操作性の高さを備え、非常に優れたユーザビリティに仕上がっていることから今回の受賞に至りました。具体的には、10.1インチのカラータッチスクリーンに加えて、管理者は最大1000個のボタンをコントロールパネルに配置することができるため、ユーザーは日常的によく使用するスキャンを簡単に実行することができます。また、**uniFLOW** やその他のビジネスソフトウェアとも柔軟に統合することが可能なため、支店などメインオフィスとは離れた場所で行う分散処理に **ScanFront 400** は非常に良い選択肢です。



①受賞製品「imageFORMULA ScanFront 400」



②開発プロジェクトチーム 田所茂氏（IMS 第 21 設計課）が Gerry O'Rourke 氏より  
記念盾を受け取りました



③ScanFront 400 プロジェクトチームと  
—2017 年 7 月 11 日 キヤノン電子 東京本社にて